



のびのこちゃん

横浜市立竹山小学校 学校だより

あ お だ け



たけまるくん

令和8年5月29日 6月号

地域に見守られながら育む交通安全の心

副校長 八田 安史

若葉の緑がいっそう鮮やかに輝く季節となりました。校庭には子どもたちの元気な声が響き、教室や廊下でも、友達と関わり合いながら、生き生きと学校生活を送る姿が見られます。朝の挨拶の声、学習に向かう真剣なまなざし、休み時間の明るい笑顔、その一つ一つに、子どもたちの日々の成長を感じ、うれしく思っています。

このように、子どもたちが毎日元気に学校へ通い、安心して学び、生活できることは、決して当たり前のことではありません。家庭や地域の皆様、関係機関の皆様に支えられながら、日々の教育活動が成り立っていることを、私たちは改めて深く感じています。そのような中、先日、市内で小学生の交通事故に関するニュースがありました。子どもたちが日常的に利用している通学路や生活道路には、常に危険が潜んでいます。交通安全は特別なときだけ意識するものではなく、毎日の暮らしの中で繰り返し考え、身に付けていくべき大切な習慣であると考えます。

本校では今年度も、「竹山見守り隊・パトロール隊を紹介する会」を開きました。日頃から子どもたちの登下校を温かく見守り、安全のために力を尽くしてくださっている地域の皆様に、心より感謝申し上げます。暑い日も寒い日も、朝の早い時間も、放課後の時間帯も、子どもたちのために



通学路に立ち、優しく声をかけ、危険のないよう気を配ってくださるそのお姿は、子どもたちにとって大きな安心につながっています。また、私たち教職員にとっても、大変心強い支えとなっています。地域の皆様のこうした日々の積み重ねがあるからこそ、子どもたちは安心して学校生活を送ることができます。



また先日は、緑警察署の方をお招きし、「交通安全教室」を行いました。道路の安全な歩き方、横断歩道の渡り方、自転車に乗る際に気を付けることなど、子どもたちは具体的に学ぶことができました。専門的なお立場から分かりやすくご指導いただいたことで、交通ルールを守ることの意味や、自分の身を守るために必要な行動について、改めて考える貴重な時間となりました。

子どもたちには、地域の方に見守っていただいているから安心、というだけでなく、見守ってくださる方がいるからこそ、自分自身も安全についてしっかり考え、責任ある行動をとるという気持ちを育てていきたいと思っています。交通安全は、「守ってもらうもの」とであると同時に、「自分で守るもの」でもあります。日々声をかけてくださる地域の皆様の温かなまなざしや願いに応えるためにも、子どもたち一人ひとりが安全への意識を高め、自分で判断し、正しく行動できる力を身に付けていくことが大切です。学校でも、交通安全を自分事として考えられる子どもたちを育ててまいります。

家庭での声かけ、地域での見守り、警察をはじめとする関係機関のご協力、そして学校での継続した指導が重なり合ってこそ、子どもたちの安全は守られています。今後も本校では、家庭や地域、関係機関の皆様と連携しながら、子どもたちの命と安全を守る取組を進めてまいります。子どもたちがこれからも安心して学び、健やかに成長していけるよう、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。